

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局 地域道路課

担当課長名： 世利 正美

| | | | | | | |
|--------------------------|--|---|---|-------------|-------|--------|
| 事業名 | いっばんけんどうたかしまひぜんせん たかしまひぜんおおはし 一般県道道鷹島肥前線 鷹島肥前大橋 | | 事業区分 | 地方道 (離島) | 事業主体 | 佐賀県 |
| 起終点 | ながさきけんまつうらしたかしまちよういしごう さがけんからつしひぜんちようほしか 自：長崎県松浦市鷹島町石川 至：佐賀県唐津市肥前町星賀 | | | | 延長 | 1.9 km |
| 事業概要 | 一般県道鷹島肥前線は松浦市鷹島町石川を起点とし佐賀県唐津市肥前町星賀に至る路線であり、鷹島町と肥前町とを架橋により連絡する重要な補助幹線道路である。本路線は離島である鷹島町と本土との往来を可能とし、救急医療時における搬送の迅速化による安全で安心できる生活と輸送手段の改善による地場産業の振興や観光ネットワークの形成を促し、地域の発展に寄与する道路である。 なお、本事業は県境を跨ぐ路線であり長崎県との共同事業として事業を推進している。 | | | | | |
| H9年度事業化 | H 年度都市計画決定 (H 年度変更) | H10年度用地着手 | H11年度工事着手 | | | |
| 全体事業費 | 59億円 | 事業進捗率 | 64% | 供用済延長 | 1.2km | |
| 計画交通量 | 1,400台/日 | | | | | |
| 費用対効果 分析結果 | B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 4.9 | 総費用：(残事業)/(事業全体) 78/218億円 事業費：76/216億円 維持管理費：1.6/1.6億円 | 総便益：(残事業)/(事業全体) 379/379億円 走行時間短縮便益：162/162億円 走行費用減少便益：217/217億円 交通事故減少便益：-0.38/-0.38億円 | 基準年：平成18年 | | |
| 感度分析の結果 | 残事業(事業全体) 交通量変動：B/C=5.4(1.9)(交通量+10%) B/C=4.4(1.6)(交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.9(1.6)(事業費+10%) B/C=6.4(1.9)(事業費-10%) | | | | | |
| 事業の効果等 | <ul style="list-style-type: none"> 物流効率化の支援(離島の本土化によるアクセス向上) 安全で安心できる暮らしの確保(二次救急医療施設唐津赤十字病院へのアクセス向上) | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | <ul style="list-style-type: none"> 地元より整備促進の要望が行われている。 | | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 | <ul style="list-style-type: none"> 平成17年1月の唐津市と東松浦郡7町村の合併により肥前町が唐津市となった。 | | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 | 平成17年度末までの進捗率は約64%であり、現在までに約1.2kmを部分供用している。平成18年度より主桁製作に着手し、平成19年度は主塔工の完成ならびに主桁製作の促進を行う予定である。 | | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | <ul style="list-style-type: none"> 用地買収はすべて確保済みである。 平成18年度から主桁製作工に着手、平成19年度架設着手予定。平成20年度の事業完成を目指す。 | | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 | <ul style="list-style-type: none"> 当初より橋梁技術検討委員会を開き、低減した設計荷重の採用や安価な主塔構造の採用等を行いコストの低減を追求した。 | | | | | |
| 対応方針 | 事業継続 | | | | | |
| 対応方針決定の理由 | 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。 | | | | | |
| 事業概要図 | | | | | | |

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。